資料2－1

熊本市震災復興計画（素案）

～熊本の力を結集し、くらしの再建と強靭な都市の創造へ～

【概要版】

令和8年10月28日

熊本市

熊本市震災復興計画（素案）～熊本の力を結集し、くらしの再建と強靭な都市の創造へ～

策定の趣旨

令和8年熊本地震における被災者の声や過去の災害の経験・教訓を踏まえながら、市民生活の再建を最優先に、復旧・復興に取り組みます。また、次の災害を見据え、市民力・地域力・行政力といった熊本の力を結集し、二度の熊本地震で得た教訓である地域のつながりによる防災力に加え、行政の災害対応力、都市基盤等の強靭化に係る取組を更に進め、くらしの再建と強靭な都市を創造していくため、熊本市震災復興計画を策定します。

計画の位置付け

第8次総合計画（基本計画）の中核として位置付け

※具体的な事業は、総合計画アクションプランに位置付けて推進します。

計画の期間と対象区域

計画期間　令和9年度（2027年度）まで
※中長期的な取組は、第8次総合計画の中間見直し（令和9年度）に反映し、継続的に取り組みます。

対象区域　現行の市域を基本に必要に応じて広域的に対応します。
また、特に被害が大きい南区は重点的に対応します。

計画の構成

基本理念（3）	全ての重点プロジェクト・施策を貫く理念
重点プロジェクト（3）	全庁的に優先・集中して取り組む事項
施策（6）	分野ごとの課題解決に向けて基本方針を整理した事項

※各取組は、データやデジタル技術を活用し、進捗や成果を把握しながら継続的な改善につなげます。

基本理念

全ての「重点プロジェクト」や「施策」を貫く最も重要な理念として以下の3つを設定します。
また、各基本理念に共通する復旧・復興の指針を設定します。

被災者の生活再建を最優先

より強靭で安全・安心なまちづくり

県都として熊本全体の復旧・復興をけん引

【復旧・復興の指針】　熊本の力を結集し、くらしの再建と強靭な都市の創造へ

熊本市震災復興計画（素案）～熊本の力を結集し、くらしの再建と強靭な都市の創造へ～

今回の災害対応において、新たに明らかとなった課題等を踏まえ、「施策」の中でも、特に全庁的な連携のもとで、優先的かつ集中的に取り組むべき事項として、以下の3つを設定します。

重点プロジェクトⅠ

誰ひとり取り残さない生活再建の実現

施策1

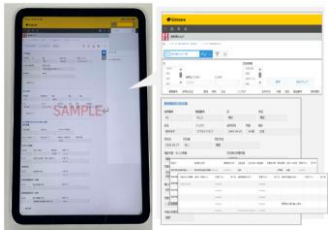
被災者カルテに基づき、住まい・健康・医療・福祉・こども支援をつなぎ、一人ひとりの生活再建に切れ目なく伴走支援します。

【取組の方向性】

1 一人ひとりに寄り添った伴走支援
2 切れ目のない住まい再建の支援
3 こどもの心のケアと居場所づくり

【主な取組の方向性】

- 被災者カルテに基づく総合的な伴走支援
- 応急住宅の供与等
- 孤立防止等の支援
- こどもが安全に過ごせる居場所の確保 等

重点プロジェクトⅡ

さらに強く災害に負けないまちづくり

施策2 施策3

都市基盤の強靭化と避難所環境の改善、地域の防災力向上等を進め、市民生活・行政機能・地域経済の維持と早期回復を支えます。

【取組の方向性】

1 より強靭化された都市基盤の構築
2 安全・安心な防災拠点施設の整備
3 災害に強い中心市街地の形成
4 地域コミュニティを核とした防災力向上

【主な取組の方向性】

- 上下水道施設や道路・橋梁等の耐震化
- 液状化等の地域リスクを踏まえた面的な対策の検討
- 市立小中学校の全体育館等への空調設備整備
- 中心市街地における建築物の建替えや耐震化
- 地域コミュニティ拠点の再建及び地域のつながりの強化　等




重点プロジェクトⅢ

地域の活力と心の復興

施策4 施策5

事業再建・雇用確保、農水産業の復興と、文化財の復旧過程の公開等を通じた魅力発信により、需要喚起と心の復興につなげます。

【取組の方向性】

1 事業者のなりわい再建と雇用の確保
2 農水産業の復興
3 観光関連需要の早期回復
4 地域の再生と心の復興

【主な取組の方向性】

- 融資、利子補給等を通じた事業継続や再建に向けた取組への支援
- 被災した農地・農漁業用施設等の早期復旧への支援
- 県・観光事業者等と連携した誘客促進
- 被災した文化財の復旧や地域活動の再開支援による心の復興支援　等




熊本市震災復興計画（素案）～熊本の力を結集し、くらしの再建と強靭な都市の創造へ～

「基本理念」のもと、分野ごとの課題解決に向けて基本方針を整理し、６つの施策で体系化します。

施策1　被災者一人ひとりに寄り添った生活再建支援

基本方針

1-1　被災者の的確な状況把握
1-2　被災者カルテに基づく伴走支援
1-3　応急的な住まいの確保と恒久的な住宅再建支援
1-4　心身の健康維持と孤立防止
1-5　災害時のこども・若者の心のケアと居場所づくり

被災者の心身の健康状態や経済状況、福祉サービスの利用状況等の課題を一体的に把握し、その解決を伴走支援することで、被災者一人ひとりに寄り添った生活再建を実現します。

【主な取組の方向性】

- 被災者カルテに基づいた総合的な伴走支援
- 応急住宅の供与等
- 孤立防止等の支援
- こどもが安全に過ごせる居場所の確保　等



施策2　都市基盤の更なる強靭化

基本方針

2-1　上下水道の復旧と強靭化
2-2　道路・橋梁・公共交通機関等の復旧と強靭化
2-3　防災拠点施設の復旧と強靭化
2-4　住宅・民間建築物及び宅地の復旧と耐震化
2-5　官民連携による災害に強い中心市街地の形成

被災した都市基盤と防災拠点を早期に復旧するとともに、耐震性、代替性及び機能継続性を高め、災害時にも市民生活と経済活動、行政機能を支えられる災害前より安全で強靭な都市基盤を構築します。

【主な取組の方向性】

- 上下水道施設や道路・橋梁等の耐震化
- 防災拠点施設の防災機能の強化等を含む強靭化
- 液状化等の地域リスクを踏まえた面的な対策の検討
- 中心市街地における建築物の更新や耐震化　等



熊本市震災復興計画（素案）～熊本の力を結集し、くらしの再建と強靭な都市の創造へ～

「基本理念」のもと、分野ごとの課題解決に向けて基本方針を整理し、6つの施策で体系化します。

施策3　災害対応力の強化と地域防災力の向上

基本方針

- 3-1　災害対応の検証と行政の災害対応力の強化
- 3-2　避難所の環境改善と運営体制の強化
- 3-3　防災DXの推進と情報発信・データ集約の強化
- 3-4　地域コミュニティの拠点や支え合い活動を核とした地域防災力の向上

二度の熊本地震における災害対応をデータ等の記録に基づき検証し、各種計画や災害対応の改善に活用するとともに、防災DXと地域との連携等を通じて、行政の災害対応力と地域防災力の更なる向上を図ります。

【主な取組の方向性】

- 初動対応等の検証と地域防災計画等への反映
- 市立小中学校の全体育館等への空調設備の整備
- 地域コミュニティ拠点の再建及び平時からの地域のつながりの強化　等



施策4　地域産業の再生

基本方針

- 4-1　被災事業者の再建と雇用の維持・確保
- 4-2　観光・交流・消費需要の早期回復
- 4-3　農水産業の早期復旧と復興
- 4-4　医療機関・福祉施設等の早期復旧とサービス提供体制の確保

被災した商工業、農漁業、観光業、医療・福祉等の事業者の事業継続と早期再建、雇用の維持を支援し、地域の需要と交流を回復するとともに、災害に強く持続的に成長する地域産業の実現を目指します。

【主な取組の方向性】

- 県・観光事業者等と連携した誘客促進
- 融資、利子補給等を通じた事業継続支援
- 被災した農地・農漁業用施設等の早期復旧支援　等



熊本市震災復興計画（素案）～熊本の力を結集し、くらしの再建と強靭な都市の創造へ～

「基本理念」のもと、分野ごとの課題解決に向けて基本方針を整理し、6つの施策で体系化します。

施策5　熊本城をはじめとした文化財の着実な復旧と心の復興

基本方針

- 5-1　熊本城の着実な復旧と次世代への伝承
- 5-2　被災文化財等の早期復旧
- 5-3　文化財の復旧過程等をいかした交流促進と観光振興
- 5-4　文化財の復旧等をとおした心の復興

熊本城をはじめとする文化財の着実な復旧を進め、歴史・文化の伝承を図るとともに、復旧過程の公開や文化芸術の力をいかし、地域の誇りの醸成と心の復興、交流人口の拡大及び観光振興につなげます。

【主な取組の方向性】

- 熊本城の効率的・計画的な復旧
- 文化財等の被害の早急な把握及び復旧支援
- 被災した文化財の復旧や地域活動の再開支援による心の復興支援　等



施策6　過去の災害の経験と教訓をいかした復旧・復興のけん引

基本方針

- 6-1　県内被災地への支援
- 6-2　県都の行政力をいかした熊本全体の復旧・復興のけん引
- 6-3　防災・減災の取組や知見の体系化と国内外への発信・都市間連携

本市の復旧・復興に全力で取り組みながら、県都・政令指定都市として県内被災地を支援するとともに、過去の災害で得た知見を次世代及び国内外へ発信することで、全国の災害対応力向上に貢献します。

【主な取組の方向性】

- 専門性等を生かした支援チームによる被災地支援
- 応援・受援を両立する体制構築の推進
- 九州市長会等との連携による役割分担等の整理　等



復興計画の推進に向けて

1　市民・地域・事業者等との協働

2　進捗管理と継続的な改善

3　国・県・関係自治体との連携